

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年5月14日

【四半期会計期間】 第20期第1四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

【会社名】 マークラインズ株式会社

【英訳名】 MarkLines Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 酒井 誠

【本店の所在の場所】 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
(注) 2020年3月30日に東京都港区赤坂八丁目4番14号から移転しております。

【電話番号】 03-4241-3901(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 坂井 建一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区永田町二丁目11番1号

【電話番号】 03-4241-3901(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 坂井 建一

【縦覧に供する場所】 マークラインズ株式会社名古屋支社
(愛知県名古屋市中区錦一丁目20番25号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第1四半期 連結累計期間	第20期 第1四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	618,632	715,023	2,380,655
経常利益 (千円)	228,930	255,907	884,916
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	159,966	113,294	611,942
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	164,996	129,444	609,827
純資産額 (千円)	2,060,334	2,405,000	2,509,485
総資産額 (千円)	2,923,859	3,405,396	3,484,500
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	12.17	8.60	46.53
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	12.10	8.57	46.29
自己資本比率 (%)	70.5	70.6	72.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当社グループは当第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）において成長戦略に挙げたテーマに取り組んで参りました。

「情報プラットフォーム」事業については、中国から始まった新型コロナウイルス感染拡大予防のための各国移動制限措置等が発表され、世界経済の減速不透明感が増加したものの、当社への影響は限定的で業績は比較的堅調に推移しました。1月には第12回オートモティブワールドに出展し、情報プラットフォームサービス及びプロモーション広告LINE Sはもとより、コンサルティング、市場予測、人材紹介及びベンチマーキングサービスをも対象として営業活動を進めました。各コンテンツにおいては、昨年より注力しておりますCASE (Connected, Autonomous, Sharing, Electric)の強化の一環として、これまでの既存のコンテンツ「環境対応車モデルチェンジ」を「CASE (電動化・自動運転)」と改名し、カメラやレーダーなど自動運転装備情報の充実を図りました。また中国の販売台数データにおいては、月次にて小売(登録)台数の掲載を2月から始め、中国新車販売状況がよりリアルに把握できるようになりました。これらの結果、契約企業数は前連結会計年度末から80社増加の3,346社となりました。

コンサルティング事業については、電動化対応のための技術調査等の受注が旺盛で前年同期を大きく上回りました。また同様に乗用車メーカーからの電動化に向けた「コスト比較分析サービス」も堅調に推移いたしました。人材紹介事業については、乗用車メーカーや部品メーカーからの技術人材の引合い案件が多かったものの前年同期を下回る結果となりました。LMC Automotive Ltd. (市場予測情報)販売事業は部分的に新型コロナウイルスの影響を受け、前年同期比微増の結果となりました。ベンチマーキング関連事業については、車両・部品調達代行サービスにおいて順調に受注を積み上げ、分解データ販売においても電動車用駆動モーターの7車種比較データの販売等が好調であったことから、前年同期を大きく上回り、売上を牽引しました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高715百万円(前年同期比15.6%増加)、営業利益は、254百万円(前年同期比12.2%増加)、経常利益は、255百万円(前年同期比11.8%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有有価証券の株価下落による投資有価証券評価損105百万円を洗替法に基づき特別損失に計上したことにより113百万円(前年同期比29.2%減少)となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

なお、これまで「その他」に含まれていた「ベンチマーキング関連事業」は量的な重要性が高まったことから独立したセグメントとして取り扱うこととしました。

「情報プラットフォーム」事業：売上高465百万円(前年同期比10.5%増加)、セグメント利益(営業利益)254百万円(前年同期比11.7%増加)

当第1四半期連結累計期間における契約社数は前連結会計年度末から80社増加し3,346社となりました。昨年より好調に推移している海外での新規契約が、当事業年度においても売上を牽引しました。特に欧州が引き続き好調だったことや、北米において大手乗用車メーカーからの大型契約(利用人数の上限なし)の獲得などが売上高増加に貢献しました。一方、日本においては前年同期比6.4%の売上増に留まりました。この結果、売上高は前年同期比10.5%増加の465百万円、セグメント利益(営業利益)については、前年同期比で11.7%増加の254百万円となりました。

「情報プラットフォーム」事業地域別売上高

地域	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) (百万円)	増減率(%)
日本	234	249	+6.4
中国	52	55	+7.1
アジア	57	68	+18.3
北米	35	43	+21.6
欧州	38	45	+18.2
その他	2	2	+14.1
合計	420	465	+10.5

コンサルティング事業：売上高85百万円(前年同期比45.3%増加)、セグメント利益(営業利益)27百万円(前年同期比45.6%増加)

当第1四半期連結累計期間のコンサルティング事業は技術調査やコスト比較分析の受注が旺盛であった結果、売上高は、前年同期比45.3%増加の85百万円となり、セグメント利益(営業利益)も売上高の増加に比例し、前年同期比45.6%増加の27百万円となりました。

人材紹介事業：売上高34百万円(前年同期比28.2%減少)、セグメント利益(営業利益)12百万円(前年同期比44.7%減少)

当第1四半期連結累計期間の人材紹介事業は、乗用車メーカーからの引合案件が多かったものの、競合他社への失注もあり、成約件数は前年同期比33.3%減少となりました。その結果、売上高は34百万円(前年同期比28.2%減少)、セグメント利益(営業利益)は前年同期比44.7%減少となりました。

LMC Automotive Ltd.製品(市場予測情報)販売事業：売上高30百万円(前年同期比7.9%増加)、セグメント利益(営業利益)7百万円(前年同期比44.6%増加)

当第1四半期連結累計期間のLMC Automotive Ltd.製品(市場予測情報)販売事業は、一部新型コロナウイルスの影響を受け、売上高は30百万円(前年同期比7.9%増加)に留まったものの、ポンド安による仕入れ原価が低減したことからセグメント利益(営業利益)は前年同期比44.6%の増加となりました。

ベンチマーキング関連事業：売上高96百万円(前年同期比62.9%増加)、セグメント利益(営業利益)29百万円(前年同期比66.0%増加)

当第1四半期連結累計期間のベンチマーキング関連事業は車両・部品調達代行サービスにおいて、乗用車メーカーからの車両調達などの大型受注が売上を大きく牽引しました。また、分解調査データ販売において、欧米における環境対応車対応への関心からTesla Model 3 分解データや電動車用駆動モーターの7車種比較データの販売等が好調で売上に貢献しました。

この結果、車両・部品調達代行サービス及び分解調査データ販売を合わせたベンチマーキング関連事業の売上高は96百万円の前年同期比62.9%の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は29百万円(前年同期比66.0%増加)となりました。

その他(プロモーション広告事業)：売上高2百万円(前年同期比19.0%減少)、セグメント利益(営業利益)0百万円(前年同期比68.2%減少)

その他(プロモーション広告事業)はPRメール売上が前年同期比で上回りましたが、バナー広告売上が前年同期比54.4%減少したことにより、売上高は前年同期比19.0%減少、セグメント利益(営業利益)は前年同期比68.2%減少となりました。

「情報プラットフォーム」以外の各事業別売上高

事業名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) (百万円)	増減率(%)
コンサルティング事業	58	85	+45.3
人材紹介事業	47	34	28.2
LMC Automotive Ltd.製品 (市場予測情報)販売事業	28	30	+7.9
ベンチマーキング関連事業	59	96	+62.9
プロモーション広告事業	3	2	19.0
合計	197	249	+26.3

(2) 財政状態の分析

資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し、79百万円減少の3,405百万円となりました。この主な要因は、売掛金が123百万円の増加、事務所移転により敷金が44百万円増加した一方で、配当金及び法人税並びに消費税の支払い等により、現金及び預金が216百万円減少したこと等によります。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し、25百万円増加の1,000百万円となりました。この主な要因は法人税の支払いにより未払法人税等が75百万円減少した一方で、買掛金が18百万円、未払金が23百万円、事務所移転等に伴う設備未払金が28百万円及び賞与引当金が26百万円それぞれ増加したこと等によります。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較し、104百万円減少の2,405百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益113百万円の計上があった一方で、配当金237百万円の支払いにより利益剰余金が123百万円減少したこと等によります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,648,000
計	27,648,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,185,200	13,185,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	13,185,200	13,185,200		

(注) 提出日現在発行数には、2020年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年1月1日～ 2020年3月31日	15,600	13,185,200	1,560	368,351	1,560	286,158

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	自己保有株式 200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,166,900	131,669	
単元未満株式	普通株式 2,500		
発行済株式総数	13,169,600		
総株主の議決権		131,669	

(注) 1. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には自己保有株式29株が含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式 数(株)	他人名義所有株式 数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
マークラインズ株式会社	東京都千代田区 永田町二丁目11 番1号	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,883,357	2,666,852
売掛金	87,536	211,407
商品	364	1,665
前払費用	16,638	21,786
その他	18,826	15,909
貸倒引当金	731	1,973
流動資産合計	3,005,992	2,915,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,197	53,319
減価償却累計額	17,891	9,832
建物及び構築物(純額)	25,305	43,486
土地	5,634	5,634
その他	29,639	34,519
減価償却累計額	22,816	23,111
その他(純額)	6,823	11,408
有形固定資産合計	37,763	60,529
無形固定資産		
ソフトウェア	95,711	87,367
無形固定資産合計	95,711	87,367
投資その他の資産		
投資有価証券	226,914	151,966
敷金	82,068	126,462
繰延税金資産	34,344	61,989
その他	2,954	3,277
貸倒引当金	1,250	1,844
投資その他の資産合計	345,032	341,850
固定資産合計	478,507	489,747
資産合計	3,484,500	3,405,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,162	27,559
未払金	22,864	46,129
未払費用	36,694	26,345
未払法人税等	161,503	85,513
未払消費税等	33,852	30,249
前受金	681,444	695,574
預り金	17,108	13,417
賞与引当金	11,635	38,449
設備関係未払金	-	28,692
その他	750	5,404
流動負債合計	975,015	997,336
固定負債		
退職給付に係る負債	-	3,059
固定負債合計	-	3,059
負債合計	975,015	1,000,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,791	368,351
資本剰余金	284,598	286,158
利益剰余金	1,913,724	1,789,970
自己株式	182	182
株主資本合計	2,564,932	2,444,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,476	33,005
為替換算調整勘定	970	6,291
その他の包括利益累計額合計	55,447	39,296
純資産合計	2,509,485	2,405,000
負債純資産合計	3,484,500	3,405,396

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	618,632	715,023
売上原価	205,882	257,077
売上総利益	412,749	457,945
販売費及び一般管理費		
販売促進費	5,378	5,628
販売手数料	499	301
広告宣伝費	3,167	2,327
役員報酬	13,735	14,266
給料及び手当	70,517	76,664
賞与引当金繰入額	15,476	15,333
退職給付費用	1,208	2,234
法定福利費	13,025	13,894
減価償却費	3,038	4,848
貸倒引当金繰入額	903	2,067
賃借料	9,616	10,745
その他	49,795	55,613
販売費及び一般管理費合計	186,361	203,927
営業利益	226,387	254,018
営業外収益		
受取利息	496	457
受取配当金	4,081	2,234
その他	330	1,141
営業外収益合計	4,908	3,833
営業外費用		
為替差損	2,034	1,943
その他	330	0
営業外費用合計	2,365	1,943
経常利益	228,930	255,907
特別損失		
投資有価証券評価損	-	105,896
特別損失合計	-	105,896
税金等調整前四半期純利益	228,930	150,011
法人税、住民税及び事業税	72,350	73,838
法人税等調整額	3,386	37,120
法人税等合計	68,963	36,717
四半期純利益	159,966	113,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,966	113,294

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	159,966	113,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,259	21,471
為替換算調整勘定	1,771	5,321
その他の包括利益合計	5,030	16,150
四半期包括利益	164,996	129,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,996	129,444
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	10,564千円	13,086千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	197,216	15.00	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 定時株主総会	普通株式	237,048	18.00	2019年12月31日	2020年3月27日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	「情報プ ラット フォーム」事業	コンサル テイング 事業	人材紹介 事業	LMC Automoti ve Ltd. 製品(市 場予測情 報)販売 事業	ベンチ マーキ ング関 連事業	計				
売上高										
外部顧客へ の売上高	420,927	58,691	47,707	28,285	59,449	615,061	3,570	618,632	-	618,632
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	420,927	58,691	47,707	28,285	59,449	615,061	3,570	618,632	-	618,632
セグメント利 益	228,066	19,211	23,174	5,104	17,667	293,224	1,750	294,975	68,588	226,387

(注) 1. その他は、プロモーション広告事業であります。

2. セグメント利益の調整額 68,588千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	「情報プ ラット フォー ム」事業	コンサル テイング 事業	人材紹介 事業	LMC Automoti ve Ltd. 製品(市 場予測情 報)販売 事業	ベンチ マーキ ング関 連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	465,225	85,294	34,235	30,528	96,847	712,130	2,892	715,023	-	715,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	465,225	85,294	34,235	30,528	96,847	712,130	2,892	715,023	-	715,023
セグメント利益	254,755	27,977	12,815	7,380	29,336	332,264	556	332,821	78,803	254,018

(注) 1. その他は、プロモーション広告事業であります。

2. セグメント利益の調整額 78,803千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、量的な重要性が高まったため、「その他の事業」に含めていたベンチマーキング関連事業を独立区分し、報告セグメントとしております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	12円17銭	8円60銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	159,966	113,294
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	159,966	113,294
普通株式の期中平均株式数(株)	13,147,771	13,180,254
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	12円10銭	8円57銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	69,012	43,124
(うち新株予約権(株))	(69,012)	(43,124)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

当社は、2020年4月1日に、以下のとおり子会社を設立しました。

(1) 目的

当社自身がベンチャー企業として成長の過程で培った経営ノウハウ、情報力とグローバルネットワーク、自動車産業の様々な領域に精通した専門人材による目利き力やサポート力など、当社グループの強みを生かし、ファイナンス面でも自動車産業支援を行うため、子会社を設立しました。

(2) 子会社の概要

会社名	株式会社自動車ファンド
所在地	東京都千代田区
事業の内容	有価証券の取得および保有 投資事業組合財産、投資事業有限責任組合財産 の運用および管理、ならびに投資事業組合、投 資事業有限責任組合への出資 等
設立の年月日	2020年4月1日
資本金	50百万円
出資比率	当社 100%

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月14日

マークライズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩出 博男 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小出 健治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマークライズ株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マークライズ株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。